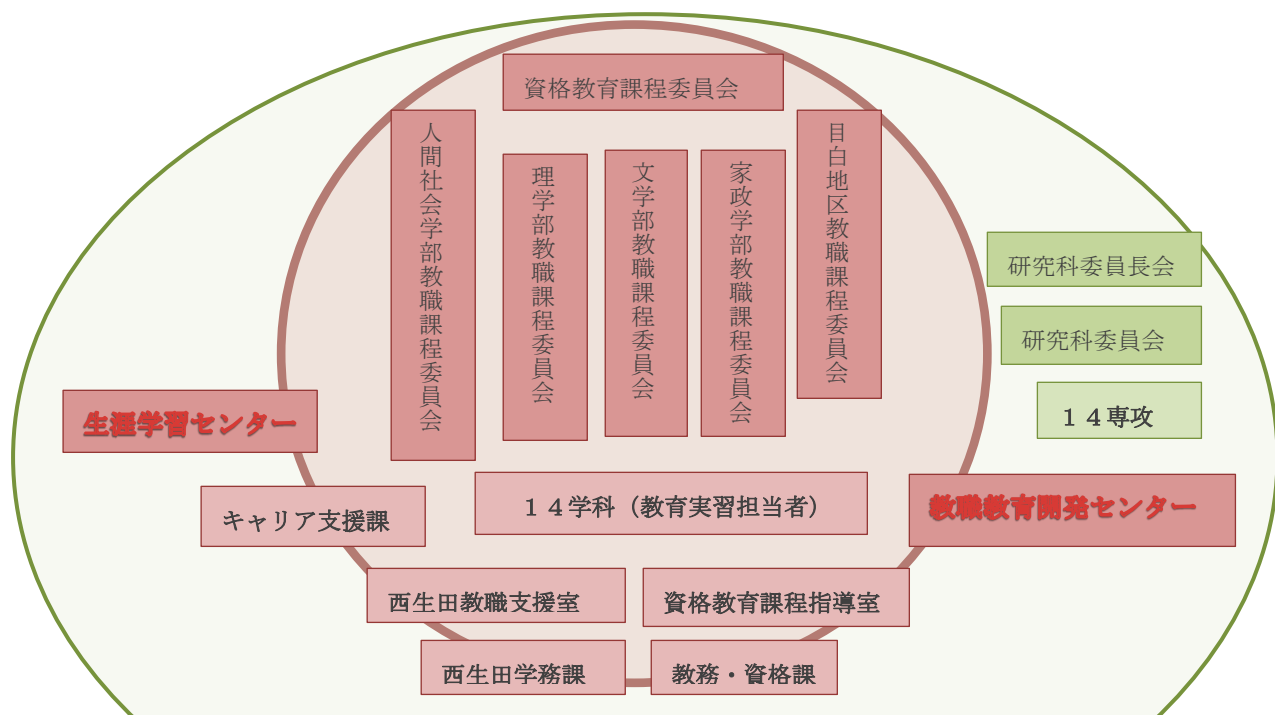


# 教員養成の教育の質の向上に係る取り組み

## ○教員養成に係る組織体制



### ●教職課程の運営体制および指導体制

日本女子大学の教職課程の運営体制は、教職課程・司書課程・司書教諭課程・博物館学芸員課程の各種資格課程の活動を統括する資格教育課程委員会のもとに設置された教職課程委員会が学科の協力・支援を得て運営しています。目白キャンパスは家政学部教職課程委員会、文学部教職課程委員会および理学部教職課程委員会が、西生田キャンパスは人間社会学部教職課程委員会が教職課程全般の企画・運営主体となっております。

教職課程科目である教育実習・介護等体験の指導は、教職課程委員会のもと、特任教授（元公立学校管理職・教育委員会経験者）および学科の教育実習担当教員を中心に資格教育課程指導室・西生田教職支援室と相互に協力して実施しています。資格教育課程指導室等にて実施する事前指導とは別に、学科においても教職課程、教育実習のガイダンスを実施し、資格取得に対する個別面談を行うなど、きめ細やかな指導体制を設けています。

### ●教員の養成に係る副専攻（コース制）・養成講座の開設

家政学部では、副専攻〔家政学部コース制（ハイロード単位群）〕（2017(平成 29)年度入学者まで適用）を開設し、児童学科の幼稚園・小学校教諭一種免許状取得者向けの「幼・小・英語学習コーディネーター養成コース」と中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭）

取得者向けの「マルチスキル家庭科教員養成コース」の2コースを設定し、さらなる教員としての専門的能力を身に付けることが可能となっています。

文学部英文学科では、中学校教諭・高等学校教諭一種免許状（英語）の取得を希望する学生に対して、子どもの成長過程（小学生）に合わせた英語教員を行うための専門家の養成を目的とした「英文学科早期英語教育教員（小学校）養成講座」を開講しています。

人間社会学部では、2016（平成28）年度より新たに学校インターンシップⅢを開講しました。学校インターンシップⅠ・Ⅱで学んだことをもとに教職全般についての理解をさらに深め、学校インターンシップの総仕上げとして、実践的指導力をさらに高め、教師としての心構えを確かなものとすることを目標としています。

### ●各種資格取得対策講座や教員採用試験対策講座の開講（生涯学習センター）

各種資格取得に向けて、目白キャンパス内に設置された日本女子大学生涯学習センターにおいて、保育士をはじめとする各種資格取得対策講座や教員採用試験対策講座（主に筆記試験対策）を開講しています。卒業生や一般の方だけでなく、在学生在が受講しやすいよう日時設定に配慮し、また、安価な受講料を設定するなど、大学をあげて資格取得を支援しています。

西生田キャンパスの生涯学習センターでは、目白キャンパス同様、保育士をはじめとする各種資格取得対策講座を開講しています。また教員採用試験対策講座は、西生田教職支援室にて実施しており、論作文、集団・個人面接、集団討論、模擬授業等の指導を行っています。

### ●教職を志す学生等へのサポート体制（教職教育開発センター）

教職教育開発センターでは、教職を志す学生をサポートする体制として、教員採用試験対策講座（主に、小論文対策・面接対策）、教員採用試験・直前対策講座、教員採用試験・ブリッジ講座、教員採用試験プレセミナーなどを実施しています。また当センターでは、教職を目指している学生の教員採用試験の準備の進め方、面接や模擬授業などについて、元公立学校長をはじめ経験豊富な先生方が相談に応じています。

また、日本女子大学は、創設期より社会に貢献する人材の育成をその理念に掲げ、初等中等教育分野に多くの教員を輩出しています。そのフォローアップとして教員免許状更新講習を毎年8月中旬に必修領域および選択領域を開講し、卒業生の他、多くの現職教諭の方が受講しています。

### ●教育委員会等との連携

日本女子大学は2011（平成23）年度に川崎市と、2014（平成26）年度に板橋区教育委員会、横浜市教育委員会と連携に関する協定を結び、学校現場における実践的で幅広い見識を身に付けさせる実習の実施等に取り組んでいます。

また、2015（平成27）年2月に、文部科学省から栄養教諭専修免許状の課程の認可を受けました。同課程開設の「学校インターンシップ」科目では、板橋区教育委員会の支援によって、板橋区立小学校の栄養教諭と本学食物学専攻教員の指導による栄養教諭養成のインターンシップを実施する予定です。

また人間社会学部では、大学1年次から学校現場の業務を体験することによって、実践的指導力のある教員の育成を目的として「学校インターンシップⅠ・Ⅱ」を開講しており、実施にあたっては、川崎市教育委員会、狛江市教育委員会と覚書を締結し、緊密な連携を図っています。

### ●学校・地域社会との連携

家政学部児童学科では、文京区など近隣の小学校と提携した支援活動を実施しています。また、新宿区、文京区の小学校、幼稚園等と提携し教育ボランティアの授業を実施しています。

理学部では、文京区と連携し、小・中学生を対象として、科学の分野における最先端の学術研究の成果を子どもたちに体験してもらうことを目的とした「子ども科学カレッジ」を実施しています。

この他に板橋区教育委員会との連携により、教育研究・学習支援活動として、学部学生および大学院学生を学習支援員として派遣する活動を行っています。

また本学は、川崎市多摩区に立地する専修大学、明治大学と共に川崎市（多摩区）と協定を締結し、文教都市としてふさわしい地域社会づくりを目指し、多摩区・3大学連携協議会に参加しています。

人間社会学部では、学校教育ボランティア係を置き、ボランティア活動を希望する学生を、多摩区の小・中学校に派遣しています。学校教育の現場で自主的なボランティア活動をすることにより、知識として学んできたことを実際の体験に活かし、さらに教育関係の仕事や教職に必要な資質を向上させることを目的としています。

また前述のとおり、本学は2014（平成26）年度に横浜市教育委員会との連携・協働に関する協定を締結し、横浜市大学連携・協働協議会に参加しています。この協議会をとおして、学校現場、教員養成に関する現状を共有し、双方で改善に向けて連携・協働するものです。